

新規採用 事務職員の声



日本赤十字社兵庫県支部管内において、今年度154名の新規採用職員が入社し、各施設へ配属されました。ここでは7名の事務職員を紹介させていただきます！



姫路赤十字病院 企画課 高橋 聡騎

私は大学進学時まで兵庫県で過ごしており、大学生の間は京都に住んでいました。社会人になって兵庫県に帰ってきたので、地元で貢献したいと考えております。大学では経営学や情報処理、医学知識から医療概論など医療事務に特化した分野を学んでいました。趣味はインドアなので、料理や動画鑑賞、TVゲームなど自粛には強いタイプだと思っています(笑) 私が日本赤十字社を志願したキッカケは、大学3回生時にお世話になった病院実習でした。その時は姫路赤十字病院で実習させていただきましたが、働いている職員の誇りと責任感の強さに圧倒されました。また、人道と博愛の精神を持って働いていらっしゃるのを実際に感じ、自分も赤十字の一員として働きたいと強く願いました。これからは赤十字人として、1人でも多くの人を苦しみから救う事を目指して、日々精進していきたいと思っております。



姫路赤十字病院 用度課 磯部 貴久

この3月まで京都の大学に通い、主に診療情報のことについて4年間学びました。趣味は読書、ランニング、ゲーム、フェスに行くことです。多趣味のように思えますがどれもかじった程度なもので中々得意な趣味を探そうかなと思っております。これから日本赤十字社の一員として、そして一人の社会人として恥じることのない行動を心掛け、大きな仕事を任せてもらえる人物になりたいです。社会人として働くのはこれが初めてなので、何もわからず先輩方に聞いてばかりだと思いますが、こちらからもアイデアだったり、意見だったりを発信していける存在に成長したいです。これからよろしくお願いたします。



多可赤十字病院 総務課 立花 紅峰

私は兵庫県姫路市出身です。今の趣味は色々なジャンルのドラマや映画を見ることです。昨年はコロナの影響もあり映画へ行った回数が自身の過去最多を記録しました。俳優縛りや監督縛りなど少しコアな見方をして楽しんでおります。就職活動ではたくさん悩み考えた末、自身が参加した総合病院でのボランティア活動をきっかけに医療現場で働く皆様の働きやすい環境づくりに興味を持ち、日本赤十字社を志望しました。まだ始まったばかりで、不安な面もありますが今できることを一生懸命取り組みたいと思っておりますので、皆様よろしくお願いたします。



神戸赤十字病院 医事課 後田 紗希

私は映画鑑賞が好きで洋画邦画問わず観ています。新型コロナウイルス感染症の影響で、自宅で観ることも増え、インドアに拍車がかかっております。そんな中、メディアでの献血の呼びかけや、災害時の活動、医療機関でのコロナの対応等が紹介されているのを目にし、その度に、私も日本赤十字社の一員なんだと感慨深い気持ちです。神戸赤十字病院においても引き続きコロナ禍での対応が求められると思いますが、公私共に適応していきたいと思っております。多くの方のお役に立てるよう、精進していく所存です。よろしくお願いたします。



神戸赤十字病院 医事課 桑名 駿太

前職を退職後、2018年6月より神戸赤十字病院で嘱託社員として働いていました。前職でも医療事務員として働いていました。趣味はスポーツ観戦、スポーツをすることです。最近話題のサブスクリプションを利用して海外のバスケットボールの試合を見ています。走ることも好きでフルマラソンの大会に参加したことがあります。現在、コロナ禍で大会がないのですが、終息した際は大会に出場したいと思っています。日本赤十字社職員として多くの方のお役に立てるように日々精進して参ります。至らぬ点もあるかと思いますが、どうぞよろしくお願いたします。



兵庫県赤十字血液センター 塚口さんさんクワン献血ルーム 山野 菜緒

私は生まれてからずっと兵庫県に住み、大学まで県内の学校に通いました。日本赤十字社兵庫県支部に就職し、これからはずっと兵庫県に携われることを、たいへんうれしく思っています。新型コロナウイルスの感染拡大でイベント会場などでの団体献血が減少し、輸血用血液の不足が懸念されています。医学の進んだ現在においても、血液は人工的にはつくれず、やはり若い頃から定期的に献血して下さる方を多くすることが大切だと思います。血液を必要とする方のために、より多くの方に献血してもらえるように、私の長所である大きな声で、呼びかけていきたいと思っております。



兵庫県赤十字血液センター 献血推進課 平野 雷

大学入学時より、兵庫県に在住しております。趣味はYouTubeの閲覧と、山や川へのアウトドアです。大学では、海外旅行やボランティア活動など、アクティブに過ごしていました。日本赤十字社を志願したのは、それらの経験がきっかけでした。海外での自然災害による国外退去者との出会いや、非営利団体での難民支援活動やコミュニティ支援への参加を通じ、今度はボランティア員ではなく、一職員として活動の幅を広げていきたいと考えたからです。日本赤十字社の掲げる理念を胸に、これから日々精進して参ります。どうぞ宜しくお願致します。

Zoomを使った赤十字オンライン講習のご案内

オンライン講習タイトル	内容	開催日	時間
あなたは大切な人を救えますか?	【救急法】一次救命処置	5月26日(水)	10:30~11:30
こどもにAEDって使えるの?	【幼児安全法】乳幼児の一次救命処置	5月26日(水)	14:00~15:00
ちょっと知ってみたい。認知症	【健康生活支援講習】地域で支える認知症	6月4日(金)	10:30~11:30
みんなで学ぼう! 応急手当	【救急法】きずの手当	6月4日(金)	14:00~15:00
こどもにAEDって使えるの?	【幼児安全法】乳幼児の一次救命処置	6月29日(火)	10:30~11:30
あなたは大切な人を救えますか?	【救急法】一次救命処置	6月29日(火)	14:00~15:00
知っておきたい! 急病・手当の基本	【救急法】急病の手当	7月14日(水)	10:30~11:30
今、考えよう! 自分の健康	【健康生活支援講習】健康な高齢者をめざして	7月14日(水)	14:00~15:00



▲三角巾を使ったきずの手当



▲心肺蘇生とAEDの使い方(一次救命処置)

※企業や各種団体でも赤十字オンライン講習にお申込みいただけます。必要に応じて上記日程以外でも開催することがありますので、当支部救護講習係にご連絡いただき、社内研修等にご活用ください。



申込み

<https://www.hyogo.jrc.or.jp/lecture/online/>

対面式での講習のご案内

講習名	日程	時間	場所
救急法基礎講習 (1日間の講習)	7月22日(木・祝)	13:00~17:30	日本赤十字社兵庫県支部
	7月31日(土)	13:00~17:30	
	8月28日(土)	13:00~17:30	
救急法救急員養成講習 (2日間の講習)	8月21日(土)・22日(日)	9:30~17:30	災害救護支援センター (三木市)
救急法基礎・ 救急員養成講習 (3日間の講習)	7月23日(金・祝)・24日(土)・25日(日)	9:30~17:30 (初日は13:00~17:30)	日本赤十字社兵庫県支部
	8月29日(日)・9月4日(土)・5日(日)		
水上安全法救助員I 養成講習 (4日間の講習)	7月3日(土)	基礎 9:00~14:30 養成 15:00~17:00	1日目 日本赤十字社兵庫県支部 2日目~4日目 兵庫県広域防災センター
	7月11日(日)	9:00~17:00	
	7月17日(土)	9:00~17:00	
	7月18日(日)	9:00~14:00	
幼児安全法支援員養成講習 (2日間の講習)	8月7日(土)・8日(日・祝)	9:30~17:30	日本赤十字社兵庫県支部
健康生活支援講習支援員養成講習 (2日間の講習)	7月10日(土)・11日(日)	9:30~17:10 (初日は9:30~16:30)	日本赤十字社兵庫県支部

※新型コロナウイルスの感染状況によっては、中止となる場合があります。 ※申込期日は開催日(初日)の1ヵ月前までです。

講習についての最新情報につきましては、ホームページにて随時発信しています。ホームページにてご確認くださいかお電話にてお問い合わせください。

講習に関するお問い合わせ

Tel.078-241-1499

ホームページ(講習のページ)

<https://www.hyogo.jrc.or.jp/lecture/>

※隔月(奇数月)に発行しています。



〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目4番5号 TEL.078-241-9889 FAX.078-241-6990

赤十字 兵庫 検索 <https://www.hyogo.jrc.or.jp/>

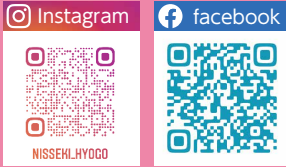
ひょうごの赤十字 5月号 [2021年5月1日発行]

ひょうごの 赤十字+

2021
5

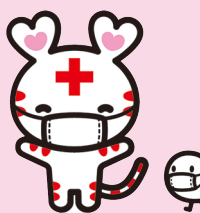
いのちと健康を守る活動に
ご協力感謝いたします。

■ ホームページ
<https://www.hyogo.jrc.or.jp/>
■ インスタグラム
https://www.instagram.com/nisseki_hyogo/
■ Facebook
<https://www.facebook.com/nisseki.hyogo/>



- 姫路赤十字看護専門学校卒業生の声
- 5月は赤十字運動月間 ~赤十字活動へのご支援をお願いします~
- 義援金へのご協力ありがとうございます
- dERU用トラックが新しくなりました
- 令和3年度新規採用職員の声

新年度
スタート!



姫路赤十字看護専門学校では、令和2年度卒業生全員が看護師国家試験に合格し、看護の道への第一歩を踏み出しました。コロナ禍での新たな一歩となりますが、看護師としての活躍を期待しています！

卒業式を終えて思うこと

姫路赤十字看護専門学校卒業生 岸原 美宇

3月に姫路赤十字看護専門学校を卒業しました。互いに高め合い共に過ごしたクラスの仲間と無事に卒業式を迎えることができたことは嬉しく、身の引き締まる思いでした。振り返ると、3年間は楽しいことばかりではなく、多くの課題とぶつかり悩むこともありましたが、学校生活での日々が自身の成長へとつながるかけがえのない時間でした。

赤十字の理念である人道についても、クラスで話し合い、様々な経験や出会いを通して考えを深めながら、看護にも活かし行動できるようになりました。コロナ禍で不安な気持ちも募ることもありましたが、私たちが多くの学びを得ることができたのは、臨地実習やオンライン授業の実施など、先生や病院の方々を支えてくださったおかげです。感謝の気持ちを忘れず、この時代だからこそ経験して気付けたことを今後も大切にしたいと思います。

第110回看護師国家試験も無事に全員合格し、4月からは看護師として働きます。3年間で得た学びを糧にし、日々看護師として成長しながら、患者さんや家族の思いに添った看護を実践できるように頑張ります。



国家試験に合格して

姫路赤十字看護専門学校卒業生 奥平 彩生

3年生になったばかりの頃は、これから始まる実習のことで頭がいっぱいになり、国家試験のことをあまり考えられずにいました。実習を行いながら模試を受けていましたが、国家試験がすぐ目の前に迫ってきた時期になってもなかなか点数が取れないこともあり、徐々に不安が大きくなっていました。また、3年生になって新型コロナウイルス感染症の流行による自粛期間があり、毎日一人で何時間も机の前に座って学習し続けなければならないことに対するストレスを感じることもありました。そのような中でも、Webでの授業を通して丁寧に指導して下さる先生方や、毎日電話を繋げて一緒に勉強をし、お互いに励まし合えるクラスメイトがいたからこそ国家試験に合格することができたと思います。

これからは学生としてではなく看護師として患者さんと向き合うことになります。3年間の学校生活で学んできたことを忘れず、また、赤十字の一員として人道を大切にしながら、患者さんの立場に立って考えることができる看護師になれるように頑張っていきたいと思います。



▲国家試験全員合格の発表の瞬間、歓声が上がりました！

遺言・相続財産・お香典でのご協力について

「自分が亡くなった後、これまで築いた財産の一部を赤十字に寄付したい」といったご相談や、大切な方を亡くされたご遺族から、「故人の遺産を社会のために役立ててほしい」というお申し出が増えています。日本赤十字社では、このような尊いご意思に応えるために、遺贈（遺言による寄付）、相続財産等のご寄付を承っております。

お問い合わせは ☎0120-078-456（振興課）まで

5月は赤十字運動月間 ～赤十字活動へのご支援をお願いします～

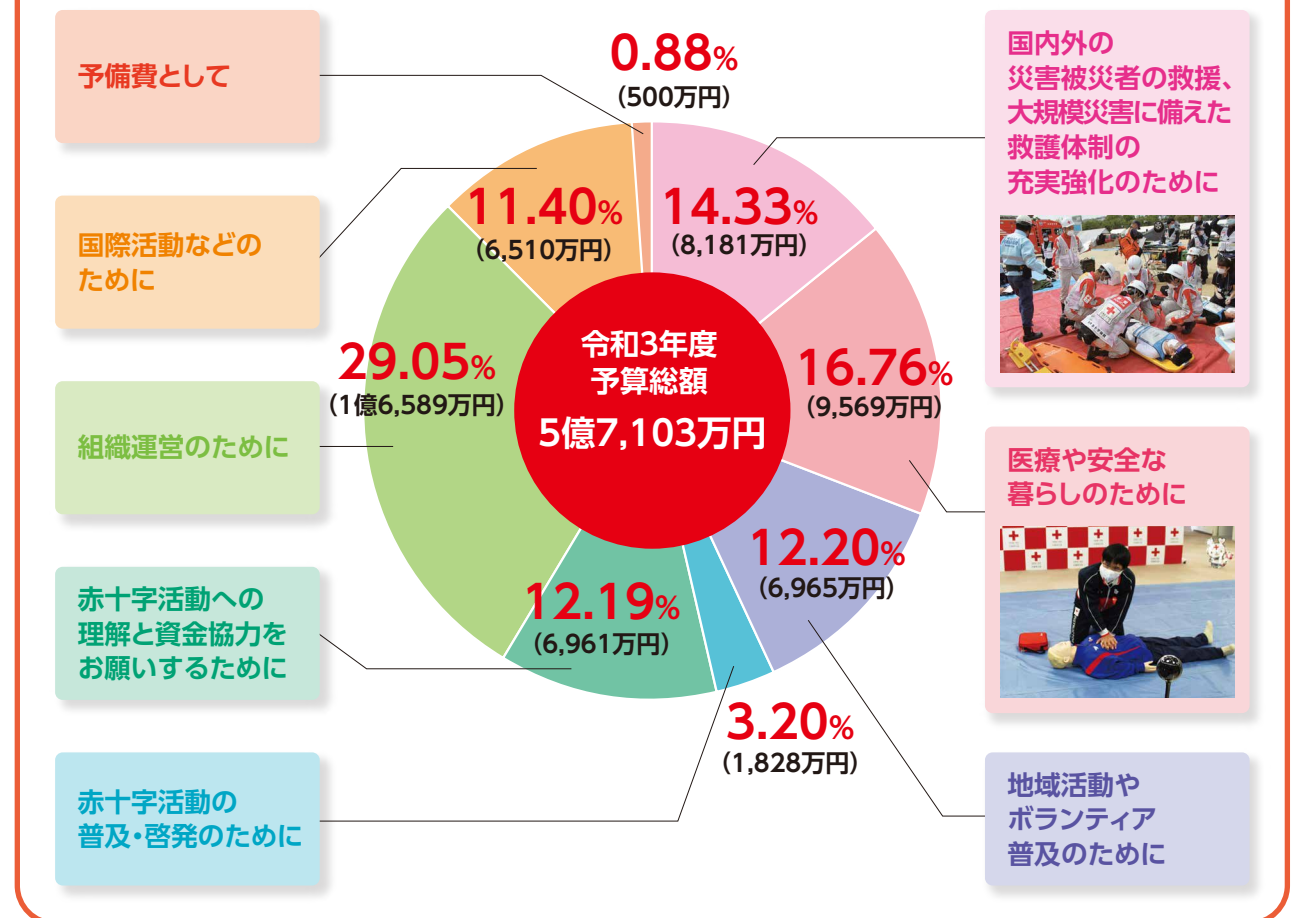
日本赤十字社では、苦しんでいる人を救いたいという「人道」を理念とし、災害時の医療救護や被災者支援をはじめ、日々の備えとして、救援物資の配備・備蓄や地域への救急箱・AEDの設置、講習会の開催など、地域の安全安心や社会のニーズに沿った活動に努めております。

昨年度より、新型コロナウイルス感染症が世界的に深刻な問題となっておりますが、日本赤十字社では、その発生初期から、クルーズ船への医療チームの派遣をはじめ、赤十字病院での感染者の受け入れ、一般市民への情報発信などに取り組んでまいりました。

こうした活動は、税金等の公的資金に抛らず、日本赤十字社の理念にご賛同いただいた皆さまからお寄せいただく活動資金（寄付金）によって支えられています。

近年、激甚化・頻発化する自然災害に対し、災害救護体制を一層強化していく必要がある中、新型コロナウイルス感染症への対応を含めた赤十字の諸活動をさらに展開していくため、皆さまの温かいご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

令和3年度 活動資金の使い道



いのちと健康を守る赤十字活動は、皆さまからお寄せいただく活動資金で成り立っています。
活動資金にご協力をお願いします

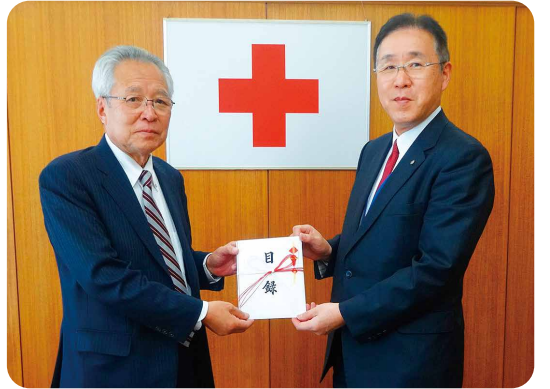
郵便局・ゆうちょ銀行からご協力いただけます
口座記号番号:01110-0-1136
口座加入者名:日本赤十字社兵庫県支部
※窓口で取扱いの場合、振込手数料は無料です。

義援金へのご協力ありがとうございます

令和3年3月31日をもって4つの義援金の募集受付が終了しました。

東日本大震災義援金の募集は、発災の翌日（平成23年3月12日）から始まり、10年間続けられてきました。兵庫県支部にも、多くの個人・法人・団体の皆さまから義援金を寄せていただきました。複数回にわたってご協力いただいた方々や、大震災直後から10年間にわたって毎年欠かさず多額の義援金をご持参いただいた企業もありました。日本赤十字社でお預かりした義援金は、全額、各都道県に設置された「義援金配分委員会」へ送金させていただいております。

皆様の温かいご支援に感謝申し上げます。



▲湊ハマ(株)様から義援金の贈呈

〈募集受付が終了した義援金〉

義援金名	募集開始日	件数	累計額
東日本大震災義援金	平成23年3月12日	3,590件	1,278,474,861円
平成28年熊本地震災害義援金	平成28年4月15日	583件	93,104,855円
平成29年7月5日からの大雨災害	平成29年7月7日	134件	21,353,262円
令和元年台風第19号災害義援金	令和元年10月16日	177件	45,184,887円

※件数及び累計額は兵庫県支部受付分

dERU用トラックが新しくなりました

大規模災害発生後、一刻も早く被災地における診療を開始することを目的として、dERU (domestic Emergency Response Unit: 国内型緊急対応ユニット)を整備しています。

dERUとは、仮設診療所整備とそれを運ぶトラックと訓練された救護員、そしてそれらを円滑に運用するためのシステムの総称です。

平成16年3月に兵庫県支部に配備されてから、国内の自然災害や大規模災害、様々な訓練の第一線で活躍してきたdERU用のトラックが、この度新しく生まれ変わりました。外見は同じですが、災害時におけるスタッフの情報収集をはじめとした各種活動がしやすいように、様々な工夫を凝らしています。

コロナ禍においても、赤十字活動に深いご理解を示して下さる多くの皆さまのご協力により実現しました。被災地では、一人でも多くの苦しんでいる人の力になれるよう、私たち職員も訓練・研修に励みます！



▲災害が起きるとすぐに出勤し、



▲現地では仮設診療所に！